

平成30年度 **大分県身体障害者福祉センター主催開催教室・大会予定表**

大分県身体障害者福祉センターでは、新年度も様々な教室や大会を準備しております。みなさまのご来場と参加をお待ちしております。



スポーツ・レクリエーション教室

No	教室名	開催時期	参加対象の方	回数	開催日	時間
①	親子スポーツ(ジュニア)(一般)	平成30年5月～平成31年2月	障がい者(児)と介助者等	10	日	13:30～16:30
②	親子水泳	平成30年5月～10月	障がい者(児)と介助者等	10	日	10:00～11:30
③	卓球バレー	平成30年5月～平成31年2月	障がい者(児)と介助者等	10	土	10:00～11:30
④	スポーツ吹矢	平成30年5月～平成31年2月	障がい者(児)と介助者等	10	日	10:00～11:30
⑤	ミニテニス	平成30年5月～平成31年3月	障がい者(児)と介助者等	10	日	10:00～12:00
⑥	ポッチャ New!	平成30年5月～平成31年2月	障がい者(児)と介助者等	10	土	10:00～12:00
⑦	フライングディスク New!	平成30年7月～10月	障がい者(児)と介助者等	4	日	10:00～12:00

趣味・文化教室

No	教室名	開催時期	参加対象の方	回数	開催日	時間
①	料理A	平成30年5月～平成31年2月	障がい者(児)と介助者等	10	土	10:00～13:00
	料理B			10	日	10:00～13:00
②	絵画・造形	平成30年5月～平成31年2月	障がい者(児)と介助者等	10	土	13:30～15:30
③	実用書道	平成30年5月～平成31年2月	障がい者(児)と介助者等	10	土	13:30～15:30
④	絵手紙	平成30年5月～平成31年2月	障がい者(児)と介助者等	10	日	10:00～12:00
⑤	パソコンアドバイス	平成30年5月～平成31年2月	障がい者(児)と介助者等	10	土	13:30～15:30
⑥	おりがみ	平成30年5月～平成31年2月	障がい者(児)と介助者等	10	土	10:00～13:00

機能訓練 教室

No	教室名	開催時期	参加対象の方	回数	開催日	時間
①	水中ウォーキング	平成30年5月～10月	障がい者(児)と介助者等	15	金	10:30～12:00
②	水中リフレッシュ	平成30年5月～10月	障がい者(児)と介助者等	13	水	10:30～11:30
③	リハビリ運動	平成30年5月～平成31年2月	障がい者(児)と介助者等	10	日	10:00～11:00
④	健康体操	平成30年5月～平成31年2月	障がい者(児)と介助者等	24	木	10:00～11:30
⑤	いきいきリフレッシュ	平成30年11月～平成31年2月	障がい者(児)と介助者等	10	水	10:30～11:30
⑥	こころのリハビリテーション New!	平成30年5月～平成31年3月	障がい者と介助者等、一般も可	6	日	13:30～15:00

共生社会啓発推進講座

年間5回実施する講座です。(内容:未定)

大会・催しもの

No	大会名	開催日・期間	参加対象の方
①	第24回ふうせんバレーボール大会	6月3日(日)	県内のチーム
②	第34回囲碁大会	6月23日(土)	障がい者(児)・一般愛好者
③	第34回将棋大会	6月23日(土)	障がい者(児)・一般愛好者
④	第16回卓球バレー大会	7月1日(日)	県内のチーム
⑤	第33回サウンドテーブルテニス大会	7月8日(日)	視覚障がい者
⑥	第33回大分県社会福祉協議会会長杯卓球大会	調整中	障がい者(児)・一般愛好者
⑦	あすびあフェスタ2018	10月28日(日)	どなたでも参加できます
⑧	第8回夢物語作品展	10月28日(日)～年内	絵画・造形・書道・絵手紙教室受講者等
⑨	第14回フライングディスク大会	11月25日(日)	障がい者(児)・一般愛好者
⑩	第3回オセロ大会	平成31年1月13日(日)	障がい者(児)・一般愛好者
⑪	第5回スポーツ吹矢大会	平成31年2月10日(日)	障がい者(児)・一般愛好者

登録ボランティアを募集します

- 身体障害者福祉センターでは教室・大会の運営をお手伝いいただく登録ボランティアを募集しています。
- お申込みはどなたでもできますが、ボランティア活動保険(保険料:年間350円)をかけることが必要となります。
- ボランティア活動保険は、大分県ボランティア市民活動センター(大分県総合社会福祉会館2階)又はお住まいの市町村社会福祉協議会で手続きができます。

お気軽に
問い合わせください。
TEL 097-558-4849
FAX 097-558-0316

大分社会福祉 だいふく No.186 発行/平成30年3月 発行・編集/社会福祉法人 大分県社会福祉協議会 〒870-0907 大分市大津町2-1-41 TEL (097)558-0300 FAX (097)558-1635 E-メール info@oitakensyakyō.jp

だいふく

大分社会福祉
No. **186**
2018.4



特集 大分県版福祉ビジョンスタート!

Twitter やってます facebook ぜひ登録をお願いします

大分県社協 検索

http://www.oitakensyakyō.jp

- おおいたくらしサポート事業の実績
- 障がい者のボウリング大会
- 評価センター実績/善意銀行
- サロンの活性化に向けた交流会
- 福祉資金のご案内/賛助会員・募集しています
- 平成30年度本会事業の基本方針が決定
- 大分県共同募金会から
- ねんりんピックってご存知ですか?
- 大分県身体障害者福祉センター主催開催教室・大会予定表

この広報誌は、共同募金の助成を受けて発行しています

大分県における「地域共生社会」の実現に向けて

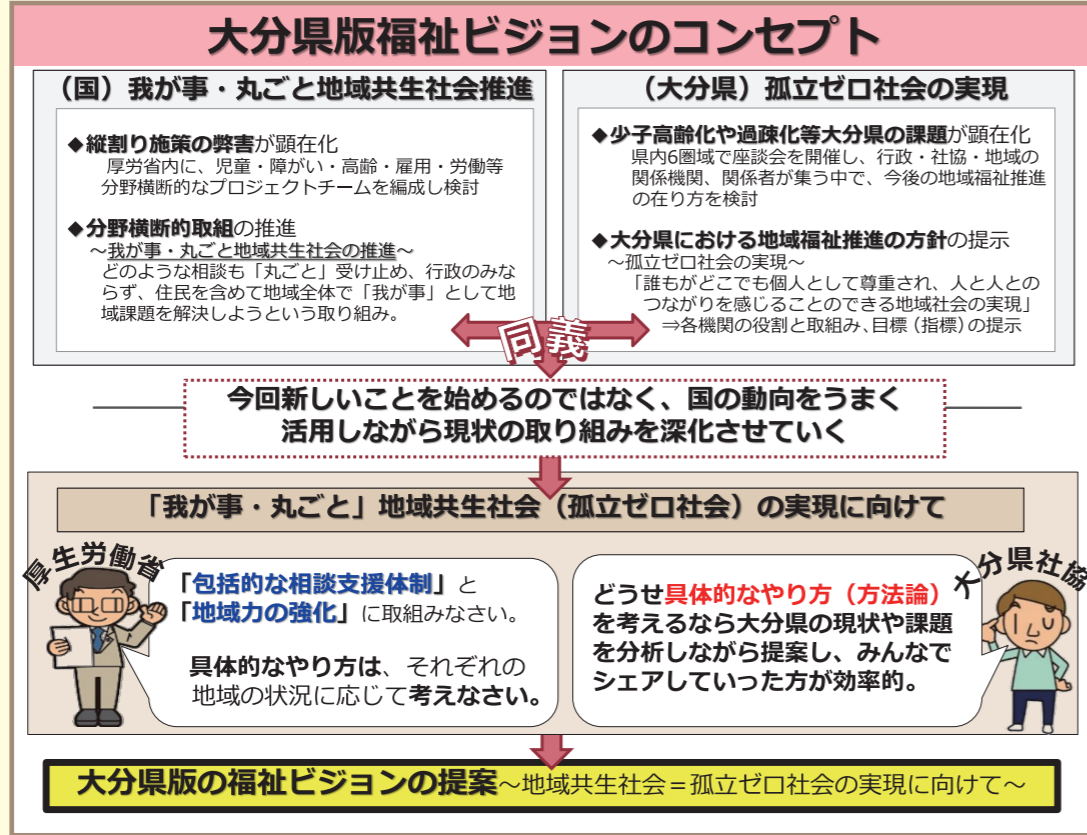
～大分県版福祉ビジョン～

大分県版福祉ビジョンって？

国の掲げる「我が事・丸ごと地域共生社会」とは、どのような相談も「丸ごと」受け止め、行政のみならず、住民を含めて地域全体で「我が事」として地域課題を解決しようという取り組みです。

これは大分県地域福祉基本計画に掲げる、「誰もがどこでも個人として尊重され、人と人のつながりを感じることのできる地域社会の実現」、いわゆる「孤立ゼロ社会の実現」を目指す取組と同義であると考えています。

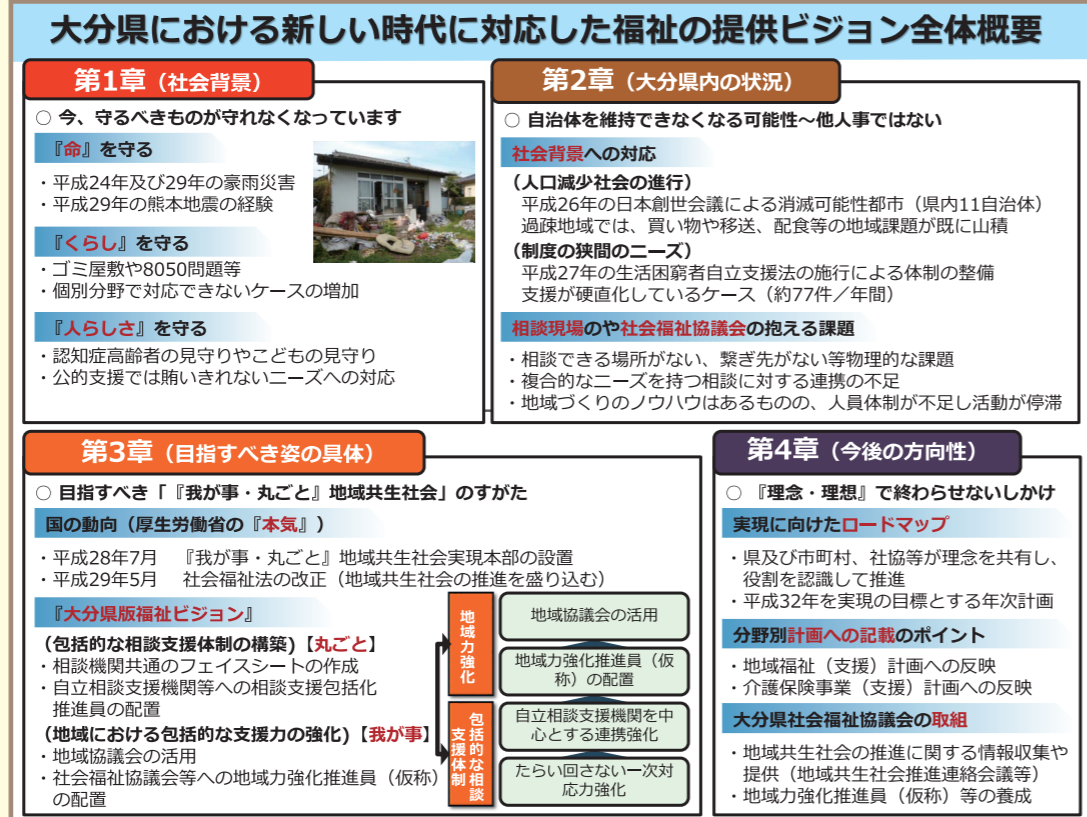
本会としては、「地域共生社会＝孤立ゼロ社会の実現」に向けて、改めて新しいことを始めるのではなく、国の動向を上手く活用して取り組み、体制を整備することを目的に、今回の「大分県版福祉ビジョン」をまとめました。



構成は…

本ビジョンは4部構成になっています。

まず第1章・第2章で、大分県内の課題について検証し、第3章で具体的な推進方法の提案をしながら、第4章で“絵に描いた餅”にならないように、工程表の提示や、計画への反映などの提案につなげています。



第1章～第2章については、大分県の現状と課題について分析した内容です。



マクロレベルの課題
～人口減少や過疎の進行～

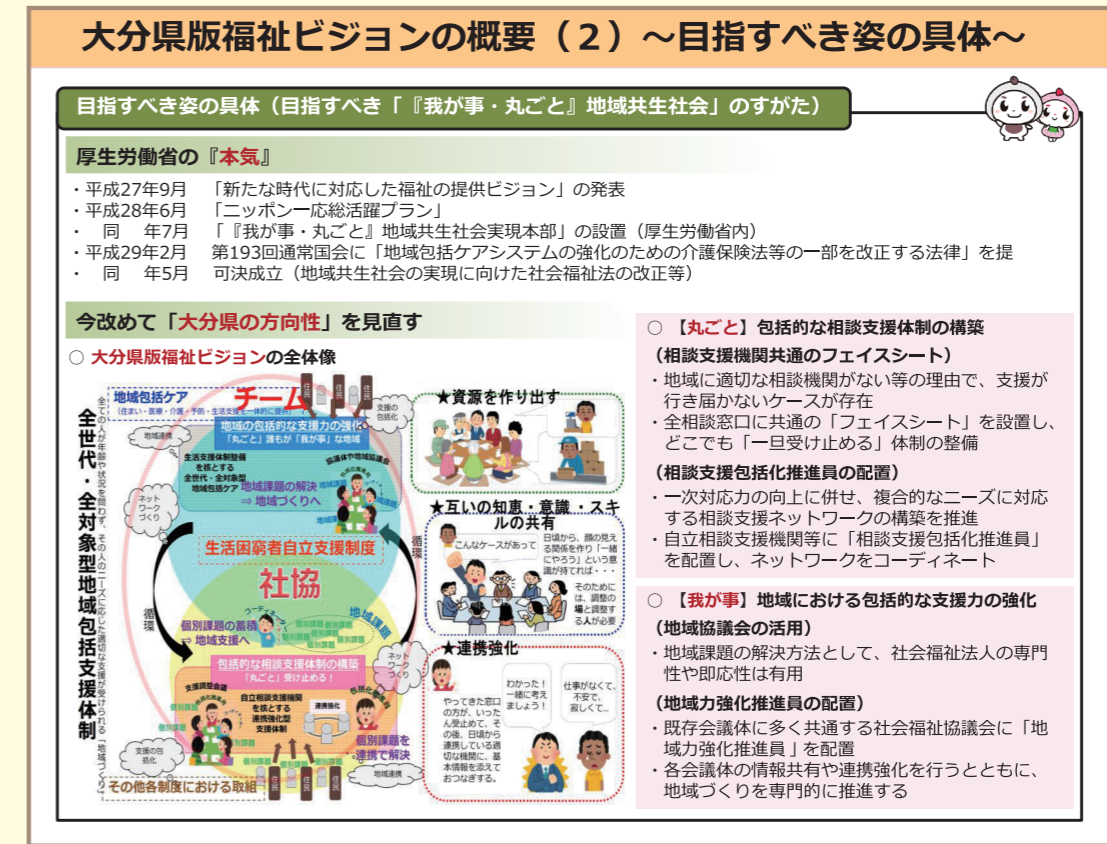
本県の60%にあたる11市町村が消滅可能性都市とされ、存続すら危ういという状況を鑑みた時に、早期に地域の支えあいの仕組みを構築していくことが必要。

ミクロレベルの課題

「相談支援現場の抱える課題」
相談支援機関に寄せられた相談のうち、5%弱がいわゆる「8050問題を抱える世帯」や「ひきこもり者」等複合的な課題を抱えているために硬直化している現状に対し、社会資源の不足・関係機関間の役割分担の不明確さなどがあると整理。

「社会福祉協議会の現状」
地域福祉推進主体として法に規定された「社協の抱える課題」として、地域福祉に割ける絶対数の不足・地域福祉専従職員の不足ということがあっているのではないかと、ということの問題提起。

第3章は、目指すべき姿の具体についてまとめています。



「包括的な相談支援体制の構築」

専門分化してきた各相談支援機関を、中心となってコーディネートする「相談支援包括化推進員」を配置し、同時に、どこの窓口でどんな相談もいったん受け止められるように、「共通的なフェイスシート」を提案。

地域における包括的な支援力の強化

日常生活圏域単位をベースに「住民と協働する地域づくり」をメインに進めていく「地域力強化推進員」を配置するとともに、「地域協議会」等既存の会議体の活用による、生活課題が集まる仕組みづくりを提案。

第4章では、
具体化に向けた方策として、ロードマップの掲載とともに、
各計画への反映について提案をしています。

大分県版福祉ビジョンの概要（3）～今後の工程と方向性～

目指すべき姿の具体（目指すべき「『我が事・丸ごと』地域共生社会」のすがた）

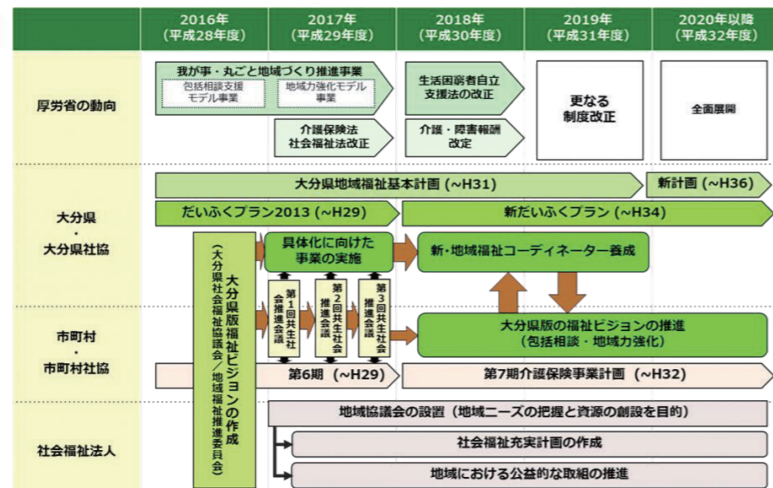
理念の実現に向けたロードマップ

（ロードマップの趣旨）

・実現に向けて、自治体や社会福祉協議会が同じ理念を共有し、それぞれの役割を意識した推進が不可欠

（具体的なイメージ）

- 『我が事・丸ごと』地域共生社会推進会議
 - ・関係機関と理念や情報を共有
 - ・各計画への反映状況を確認するとともに、恒久的な仕組みの構築を促進
- 人材育成やツールの開発
 - ・相談支援包括化推進員や地域力強化推進員の養成
 - ・丸ごと相談受付票の作成と活用に向けた研修等の実施



各施策との連携（介護保険、地域福祉）

- （生活困窮者自立支援制度との関連）【地域福祉計画】
 - 地域共生社会の基本的な考え方
 - ・どんなニーズも受け止める仕組みの構築
 - ・相談支援包括化推進員の配置
- （地域包括ケアシステムとの関連）【介護保険事業計画】
 - ・日常生活を支援する体制の整備
 - ・地域づくりと地域ケア会議・生活支援体制整備の推進
 - ・日常生活圏域
 - ・日常生活支援等への取組及び目標設定
 - ・地域包括支援センターの設置、適切な運営等

大分県社会福祉協議会の取組

- ビジョンの実現に向けて、以下の取組を行う。
- （地域共生社会の推進に関する情報収集や提供）
 - ・「『我が事・丸ごと』地域共生社会推進会議」の開催
 - ・研究作業部会の開催
 - （地域力強化推進員等の養成）
 - ・「地域力強化推進員」養成研修
 - ・「相談支援包括化推進員」養成研修
 - ・「地域力強化推進員及び相談支援包括化推進員等連絡会」の開催

詳細は「大分県社会福祉協議会」のホームページをCHECK
「大分県社協」で検索

大分県社協

検索

“『我が事・丸ごと』地域共生社会”って??

生活困窮者自立支援制度の施行に伴い、縦割りに発展してきた制度の弊害が顕在化し、分野横断的な施策や取組みの必要性が見えてきました。

このために掲げられたコンセプトが“我が事・丸ごと”「地域共生社会」です。国は、このコンセプトの具現化に向けて、法改正や、モデル事業などを展開し、強力に推進をはかっています。



社会福祉法人の社会貢献事業

「おおいた“くらしサポート”事業」平成29年度実績

「おおいた“くらしサポート”事業」は既存の制度では対応が困難な問題や生活困窮者等の様々な福祉課題を解決するために、県内各地の社会福祉法人（施設）の職員が相談支援活動を行い、緊急時には経済的援助（現物給付）を行う事業です。平成27年から事業を開始し本年で4年目を迎えますが、相談に対応する中で生活困窮者等の様々な課題が見えてきています。

実績内容を一部紹介します。

平成29年度は106件の相談に対応しています。（平成29年4月～平成30年2月までの報告集計による）



表1

相談者の年齢構成

相談者は、20代～60代の稼働年齢層が多く見られ、就労の問題や身体的・精神的な要因がより困窮状態を長引かせているようです。また、母子家庭や若年層の相談も増加しています。

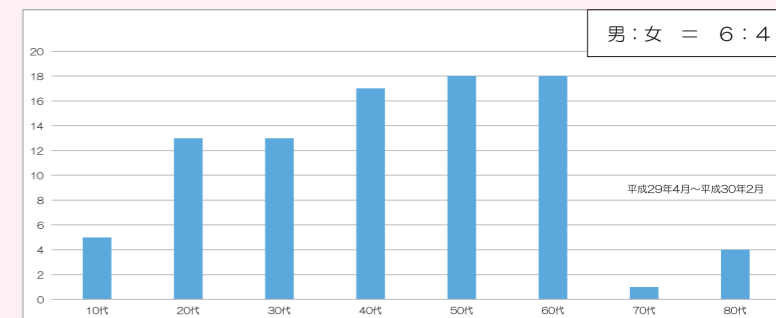


表2

相談者の主な特徴

失業等による経済的困窮が突出していますが、病気や家族関係、多重債務など、その他の要因が重層的に絡んでいるケースが殆どです。

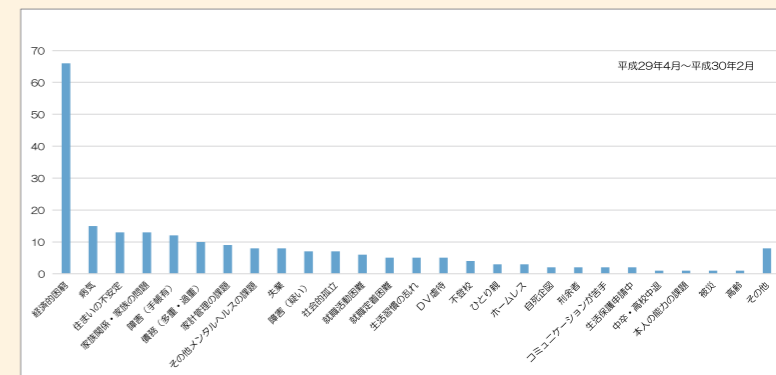


表3

相談経路

相談経路としては、生活困窮者自立支援事業所である社協や行政窓口からが殆どですが、相談支援事業所や地域包括支援センターから、また、スクールソーシャルワーカーからの相談も増えています。

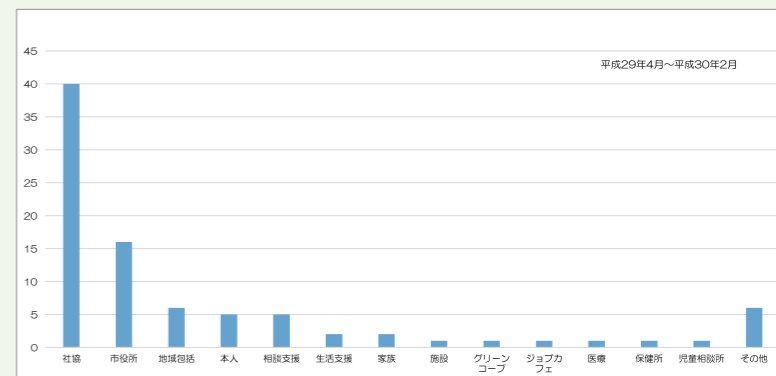
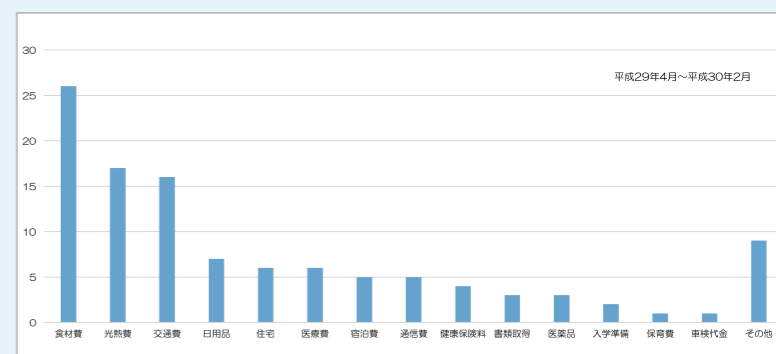


表4

経済的支援の内容

多くの世帯が複数の生活困窮要因を併せ持っており、緊急の食材や料金滞納により停止された電気・ガス・水道のライフラインの復旧、就労活動のための交通費の支援など個々の状況に応じて行っています。



『障がい者のボウリング大会』開催!

本年1月20日(土)、大分市・タワーボウルで県知的障害者施設協議会(知障協)と、障がい者の保険などサポートを行っている県知的障害児者生活サポート協会(サポート協会)の合同で「平成29年度ボウリング大会」が開催されました。

参加者は51名。保護者に介助してもらいながら初めてボウリングをする人から、プロ並みな腕前でストライクを決めていく参加者まで、年齢、レベルを問わず幅広い人が集まり、会場は盛り上がりました。

施設の職員さんからは「なかなかこういう機会がないので、ぜひ来年も施設利用者の方に多く参加していただきたい。」という声がありました。

今回のボウリング大会は、会員本人だけでなく、その施設の担当者や保護者同士の貴重な交流の場にもなりました。

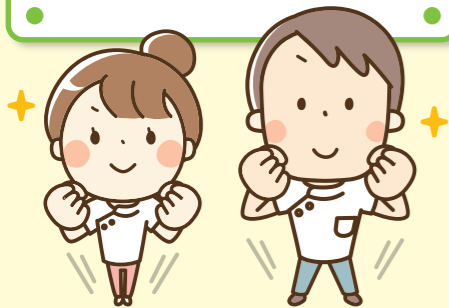


今年度の福祉サービス第三者評価の受審結果は・・・

事業所の実施する福祉サービスの質の向上と利用者への情報提供を目的とする「福祉サービス評価事業」として、福祉サービス第三者評価及び地域密着型サービス等外部評価を実施しました。

受審のメリットは

- ① サービスの改善点が明らかに
- ② 目標設定につながる
- ③ サービス内容の改善
- ④ 職員の気づき
- ⑤ 利用者や地域からの信頼などの効果が期待できます。



種別	福祉サービス第三者評価(件)	地域密着型サービス等外部評価(件)
特別養護老人ホーム	2	-
通所介護	3	-
保育所(幼保連携型認定こども園)	2	-
障がい者・児施設	3	-
児童養護施設	5	-
母子生活支援施設	1	-
児童自立支援施設	1	-
乳児院	1	-
児童心理治療施設	1	-
認知症対応型共同生活介護事業所	-	57
合計	19	57

受審に関してのお問い合わせは
福祉サービス評価センターおおい 大分市大津町2-1-41 大分県総合社会福祉会館内
 電話:097-558-1560 FAX:097-558-1990

善意銀行預託者

平成30年1月～平成30年3月

いただいた金銭・物品は、社会福祉施設や各種地域福祉活動、またご指定があった事業等に活用しています。ご協力、ありがとうございました。

- 相生市民クリスマス実行委員会
- 一般社団法人生命保険協会大分県協会
- 愛隣幼稚園
- 河野千代子

(敬称略・順不同)



交流会を開催しました

今年度、県内を5つの圏域に分けた圏域別のサロン交流会を開催し、最後に全県を対象とした全体会を実施、累計約580名の方に参加いただきました。



平成29年度開催地・参加者数等

日程	開催地(会場)	参加者数	対象
H29.10.23(月)	竹田市(竹田市総合社会福祉センター)	85	竹田市・豊後大野市
H29.10.31(火)	佐伯市(佐伯市保健福祉総合センター和楽)	120	佐伯市・臼杵市・津久見市
H29.11.27(月)	豊後高田市(豊後高田市役所コスモスホール)	80	豊後高田市・中津市・宇佐市
H29.12.11(月)	日田市(パトリア日田)	60	日田市・九重町・玖珠町
H29.12.14(木)	杵築市(杵築市健康福祉センター)	65	別府市・日出町・杵築市・国東市・姫島村
H30.1.25(木)	大分市(大分県教育会館)	170	大分県全域

交流会の目的

市町村を越えた、サロン関係者の横のつながりの強化やサロン内容の工夫、課題解決に向けた意見交換を行い、県内各地のサロン活動の活性化を図ることを目的に開催したものです。この、「サロン交流会」は平成27年度から実施し、3年間で延べ1,800名の方に参加いただきました!



交流会の内容

レクリエーション講義や研修、実践発表など、各圏域で異なる手法で交流・意見交換を行いました。

全体会では、講師にmottoひょうご 事務局長 栗木先生をお招きし「地域が元気になる!～ふれあいいきいきサロンの真(リアル)の効果とは!～」と題し、講演いただきました。

交流会をとおして、参加者から「楽しい時間を過ごすことができた」「交流会で学んだことを持ち帰って、自分のサロンに活かしたい」「交流会で知り合った方と今後も交流したい」などの声をいただきました。



あなたの夢を応援します!

～新たな貸付事業のご案内～

大分県社会福祉協議会では、福祉の仕事を目指す方や、児童養護施設退所者、ひとり親家庭の方の自立に向けた新たな貸付事業を行っています。

この貸付事業は、取得した資格を活用し一定期間就労すると、貸付金の返済が免除になります。



介護福祉士等修学資金等貸付

- ① 介護福祉士修学資金 月額5万円以内
入学準備金・就職準備金 各20万円以内
国家試験受講対策費 4万円以内
- ② 社会福祉士修学資金 月額5万円以内
入学準備金・就職準備金 各20万円以内
- ③ 介護福祉士実務者研修受講資金 20万円以内
- ④ 離職介護人材再就職準備金 20万円以内

保育士修学資金等貸付

- ① 保育士修学資金 月額5万円以内(上限120万円)
入学準備金・就職準備金 各20万円以内
- ② 保育士就職準備金 40万円以内

児童養護施設退所者等に対する自立支援貸付

- ① 生活支援金 月額5万円以内
- ② 家賃支援金 家賃相当額(生活保護制度上の生活扶助額を上限)
- ③ 資格取得支援金 25万円以内

ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付

- ① 入学準備金 50万円以内
- ② 就職準備金 20万円以内

お問い合わせ先

**大分県社会福祉協議会
福祉資金部福祉資金課**
電話(直通) 097-515-7771

※各貸付・免除には条件があります。



平成
30年度

事業の基本方針が決定しました



本会の理事会・評議員会において、新年度の事業方針が承認されました。

介護の必要な高齢者や一人暮らし高齢者の増加、無縁社会の風潮が浸透する中で、ひきこもりの増加や買物困難者、さらには虐待など多くの深刻な問題が発生しており、「社会福祉協議会」が果たす役割はますます大きくなっています。

平成30年度は、大分県社協第四次中長期活動計画「だいふくプラン2018」の初年度になります。目標達成に向け各事業を着実に進めていきます。

- 1 地域福祉活動の推進**
住民主体による地域福祉活動の推進、福祉サービス利用者の権利擁護、県民への良質な福祉サービスを提供するために、福祉サービスを支える担い手の養成・確保等について引き続き取り組みます。また、本会キャラクター「だいふくん」を活用した情報発信や地域福祉活動の財源確保等に取り組みます。
- 2 新規事業の取り組み**
支援が必要な子どもの問題を早期に発見し早期支援につなげるため、子どもの居場所運営者への研修を実施するとともに、運営者の課題解決に向けた連絡会の設置を行います。また、介護人材が不足している状況下、ノーリフティングケアの普及を図るための研修や導入マニュアルの作成に取り組みます。
- 3 生活支援事業の充実**
市町村社協の自立相談支援事業と生活福祉資金貸付制度の連携を図り、低所得者や失業による生活困窮者への支援を行うとともに、日常生活自立支援事業のさらなる充実や社協の「法人後見」実施に向けた取り組みを推進します。また、社会福祉法人の社会貢献事業の取り組みを支援します。
- 4 ボランティア活動の推進と復興支援**
東日本大震災及び熊本地震、九州北部豪雨災害などの被災地支援を引き続き行うとともに、ボランティア・市民活動を積極的に推進し、地域課題に取り組む人材の育成を図ります。
- 5 指定管理施設の運営**
「大分県社会福祉介護研修センター」及び「大分県身体障害者福祉センター」において各種事業の充実を図り、福祉人材の育成及び利用者へのサービス向上に努めます。
- 6 財政基盤強化**
経営基盤強化・発展計画による確実な財政再建を図るとともに、人材育成基本方針のもと、職場内研修の充実や積極的な研修への参加など適正な人事管理を行います。

各部所別重点項目

総務・企画情報部(総務企画課)

- ① 法人運営の強化と適正な人事管理
- ② 総合社会福祉センターの運営

地域福祉部(地域福祉課、子ども支援センター、あんしんサポートセンター)

- ① 地域福祉の推進強化
- ② 社協による権利擁護体制強化への支援

市民活動支援部(ボランティア・市民活動センター、長寿いきいき班、フードバンクおおい)

- ① フードバンクおおいの推進
- ② 災害ボランティアセンターの支援強化
- ③ 市町村災害ボランティアセンター支援ネットワークの立ち上げ支援
- ④ 現役引退後の社会参加等生きがいづくり

福祉資金部(福祉資金課)

- ① 生活困窮者の生活再建に向けた取組の強化
- ② 福祉人材確保並びに自立支援のための貸付事業の推進

身体障害者福祉センター

- ① 障がい者のニーズを踏まえた事業の実施
- ② 障がい者と地域住民との交流の促進
- ③ 安心で安全な施設づくり
- ④ 施設・設備の整備・充実

施設団体支援部(施設団体支援課)

- ① 高齢者施設・団体への支援
- ② 障がい者施設・団体への支援
- ③ 児童施設・里親への支援
- ④ 施設と連携した社会的孤立解消に向けての取組み
- ⑤ 虐待防止・根絶
- ⑥ 社会福祉法人への支援
- ⑦ 第三者評価等の強化

社会福祉介護研修センター

総務・人材部

- ① 指定管理業務の円滑な運営と効率的な予算執行
- ② 福祉・介護人材の確保・定着への支援
- ③ 東アジアからの視察旅行の受入促進
- ④ 介護支援専門員実務研修受講試験の円滑な実施

介護研修・総合相談部

- ① 家庭及び地域における介護機能の強化、介護予防意識の普及
- ② 人材確保につながる介護職場の魅力向上
- ③ 相談担当職員への支援強化及び広報の充実

社会福祉研修部

- ① 認知症高齢者に適切に対応する人材の育成
- ② 介護支援専門員研修の新カリキュラムに対応した取り組み

賛助会員ご紹介

平成30年3月31日現在

本会の活動に賛同いただける「賛助会員」へのご加入をお願いしています。賛助会費は、県内の地域福祉活動を支援するために使われています。ご加入いただきありがとうございます。

(敬称略・順不同)

企業・団体	一般社団法人大分県歯科医師会	医療法人社団仁泉会 畑病院	医療法人社団三杏会 仁医会病院
新日本法規出版株式会社 福岡支社	株式会社テレビ大分	医療法人岡仁会 大分共立病院	特定非営利活動法人ゆうゆう
株式会社電子印刷センター	株式会社豊和銀行	一般社団法人大分県建設業協会	大分県済生会日田病院
医療法人向心会 大貞病院	株式会社大分銀行	大日商事株式会社	一般社団法人生命保険協会
医療法人英然会 里見医院	社会福祉法人玖珠会	医療法人慈愛会 向井病院	株式会社大分航空トラベル
大分ゼロックス株式会社	有限会社夢のおと	大分県商工会議所連合会	日本電通株式会社大分営業所
大分県司法書士会	グローバルライフ生石	医療法人鶴山会 秋山医院	特定非営利活動法人ホビータイム
医療法人社団唱和会 明野中央病院	大分電子工業株式会社	丸果大分大同青果株式会社	東九州設計工務株式会社
玖珠工業株式会社	有限会社明友	よしどめ内科・神経内科クリニック	株式会社大分放送
嶋津内科医院	株式会社大分白屋	株式会社佐伯建設	一般社団法人大分市医師会
杉谷診療所	有限会社寺司装備	ライフホームまなひ	大分朝日放送株式会社
有限会社ワイスケア	医療法人社団親和会	公益社団法人大分県理学療法士協会	三井住友信託銀行株式会社福岡天神支店
医療法人社団内尾整形外科医院	株式会社オー・ビー・シー	濱田重工株式会社大分支店	有限会社社福 小池原福招苑
有限会社大分エンゼル商事	名鉄観光サービス株式会社大分支店	特定非営利活動法人銀河鉄道	
社会保険労務士事務所SRI	医療法人鶴友会 老人保健施設メイトピアこが	大分県医師会	
個人	白杵 清次	伊東 雅人	富高 義和
池辺 廣司	平岡 祥子	西永 和夫	河野 千代子
		神本 紀武	大津 幸江
		松田 重博	高橋 勉
		広瀬 通隆	梅木 豊誌

災害義援金のお礼

平成29年7月5日からの記録的な梅雨前線豪雨により被害を受けられた被災者を支援するための「大分県豪雨災害義援金」と、平成29年9月17日に大分県に接近した台風18号により被害を受けた被災者を支援するための「台風18号大分県義援金」の受付を終了いたしました。県内外の多くの皆さまから温かいご支援をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。なお、お預かりしました義援金は、大分県が設置する義援金配分委員会において、配分を決定し、市町村を經由して被災された世帯へお届けします。(配分状況については、県庁ホームページをご覧ください)

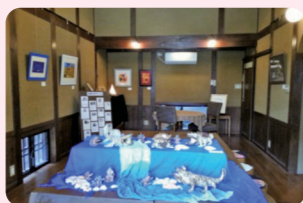
ありがとうメッセージの紹介 (平成28年度募金・平成29年度助成)

助成先：元気のでるアート!実行委員会
所在地：臼杵市
事業内容：元気のでるアート!巡回展示会
助成額：380,000円

貴重な「助成金」ありがとうございました。
私たち「元気のでるアート!実行委員会」は、アートを通して、人と人との出会いの場をつくることで、障がいのあるなしにとらわれない『共生社会』の実現をめざしています。
今年は、おかげさまで県内各地で展示会を開催することができました。
募金をして下さった皆様へ心から感謝申し上げます。



アートプラザ(大分市)



まちなかアート(臼杵市)



ガハマテラス(別府市)



ロビー展示(大分市)

助成先：シニアクラブ三色すみれ
所在地：臼杵市
事業内容：機材整備(物置・耕うん機購入)事業
助成額：340,000円

このたびは、赤い羽根募金より助成金をいただきまして誠に有難うございました。私ども、シニアクラブ三色すみれは、畑を媒体とし、生産性、社会性、会員の健康をテーマに、高齢になっても、適度に働き、健康維持を図ろうとする臼杵市内の会員で年齢を問わず構成されています。古い耕うん機がりましたが、故障し使用出来なくなっているところ、高齢者の閉じこもり予防の活動が評価され、助成いただきましたことを会員共に喜び、社会貢献に利用させていただきます。ありがとうございました。



募集します!!

平成30年度 一般募金に係る広域公募助成事業

申請書受付期間 平成30年4月2日(月)～5月16日(水)
対象 県内で活動する福祉を目的とした民間の施設・団体が福祉活動または福祉施設の利用者サービスの向上のために実施する、独自資金だけで行うことが難しい場合に、経費の一部を大分県共同募金会が審査のうえ、定められた範囲内で助成します。

平成30年度 テーマ募金(使途選択募金)参加団体

申請書受付期間 平成30年4月2日(月)～5月16日(水)
対象 県内で活動する非営利団体で、共同募金運動期間の拡大期間(1月～3月)において、自ら活動の趣旨を県民に啓発しながら、その事業に必要な資金を調達するために募金活動をおこないます。

平成30年度 JRA助成事業(公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団)

申請書受付期間 平成30年4月2日(月)～5月16日(水)
対象・金額 車両購入事業を対象とし、平成30年度中に着手し、完了する事業を対象とし、申請金額は、総事業費の4分の3以内で100万円以内(万円未満切り捨て)とする。

平成30年度 広域助成の特別事業

(平成29年度の配分金の戻入や災害等準備金の期間満了後の取崩し金等を活用し、平成30年度に助成するものです。)

申請書受付期間 平成30年4月2日(月)～5月16日(水)
対象・金額 (1)安全・安心なまちづくり事業…50万円以内(事業費の3/4以内) 地震や風水害などによる自然災害の被害や、子どもが犠牲になる痛ましい事件等を未然に防ぐため、地域での防災や防犯に取り組む活動。
(2)災害等緊急に助成が必要な事業…100万円以内(事業費の3/4以内)
(3)その他特別事業…100万円以内(事業費の3/4以内) 福祉ニーズに即応して社会福祉協議会が地域福祉活動計画に沿って行うもの等

もうすぐ60歳の方、60歳以上の方、「ねんりんピック」をご存じですか?

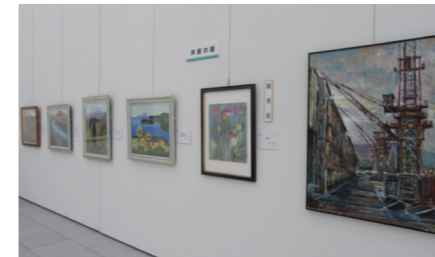
ねんりんピックの愛称で親しまれている「豊の国ねんりんピック」は、60歳以上の方を中心として、あらゆる世代の人たちが楽しみ、交流を深めることができるスポーツと文化の祭典です。



5月9日(水)～14日(月)に第29回豊の国ねんりんピック美術展、シルバーふれあい短歌・俳句・川柳展を、大分県立美術館OPAMの3階展示室Bで開催します。県内在住の60歳以上の方が創作した感性豊かな作品を一同に展示しますので、ぜひご来場ください。
開催期間中、「第33回国民文化祭・第18回全国障害者芸術・文化祭」開催に向けて機運を盛り上げていくための応援企画として、美術や文学などで表現者や鑑賞者といった従来の枠組みを超えた参加者によるワークショップもおこないます。



昨年度の展示会場のような



ワークショップ時間割

日にち	場所	講座	時間・内容
5月10日(木)	2F 研修室	書道 講師 西村 桃霞 大分県美術協会	(全日)13:00～16:00 (大字書)「大きな筆で書こう」
5月11日(金)	2F アトリエ	工芸 講師 吉井 梢 大分県美術協会	(午前の部)10:10～12:10 (エコバッグ絞り染め) 「かわいい、しぼり染めのエコバッグを作ろう」
	2F アトリエ	彫刻・彫塑 講師 袖野 朝男 大分県美術協会	(午後の部)13:00～16:00 (油粘土) 「油粘土で生活に身近な野菜、果物を作ろう」
	2F 研修室	絵手紙 講師 原野 彰子 日本絵手紙協会公認講師	(午前の部)10:10～12:10 (和紙のハガキに筆と墨で心を込めて描く絵手紙) 「ヘタでいいヘタがいい」
	2F 研修室	俳句 講師 阿部 正調 大分県俳句連盟	(午後の部)13:00～16:00 (写俳) 「レンズの切り取る一瞬でイメージを広げ、選び抜かれた十七文字で新しい世界観を楽しもう」



エスカレーターで2階へ上がり、真っ直ぐ突き当たりが研修室、手前がアトリエです。

9月23日(日)を主日程に第29回豊の国ねんりんピックを開催します。
県内在住の60歳以上の方(平成31年4月1日時点で60歳になられる方)であればどなたでも出場できます。

どのような競技があるのですか?

★スポーツ交流大会

- 卓球
- テニス
- マラソン
- ペタンク
- ゴルフ
- ソフトテニス
- ソフトボール
- ゲートボール
- 弓道
- 剣道

★ふれあいスポーツ交流大会

- グラウンドゴルフ
- サッカー
- ミニバレーボール
- 軟式野球

★文化交流大会

- 囲碁
- 将棋

どうやったら出られるのですか?

大分県では、豊の国ねんりんピックを開催し、全国健康福祉祭ねんりんピックに大分県選手団を派遣しています。
大分県社会福祉協議会が各種目別開催要綱を発行していますので、各団体にお問い合わせいただき、お住まいの市町村の高齢者福祉担当課でお申し込みください。
大分県社会福祉協議会の長寿いきいき班のホームページでもねんりんピックについて閲覧できます。

<http://www.oitakensyakyo.jp/ikiiki>

